

私立大学情報教育協会  
平成27年度  
大学職員情報化研究講習会  
基礎講習コース報告

B2班 Q&Way推進委員会

1

発表テーマ

学生一人ひとりが自主性を  
身につけるために

2

## テーマ選定理由(1) 大学の役割

### ■ 私たちが考えた大学の役割

- ・学生が幸せに生きる力を身につける支援をする。  
 幸せの形は学生一人ひとりで異なり、自分の道を目指して行動できる人材を育てる。

### ■ 役割を果たすために、大学は何をしなければいけないのか

- ・学生1人ひとりが自主的に行動できる力を育む。
- ・学生のできることを認め、本人に自信を持ってもらう。

## テーマ選定理由(2) 大学の現状

### ■ 大学の現状はどうだろうか？

- ・自主的に行動できない学生が多い。
- ・大学に対する愛着が少ない(不本意入学者が多い)

### ■ 役割を果たすために、どのような取り組みが必要なのだろうか？

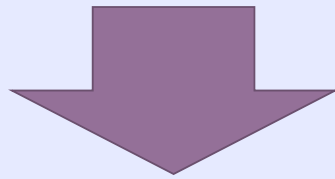
- ・学生に考えさせるきっかけを作る。
- ・学生に大学が行っている活動に興味を持ってもらう

学生一人ひとりが自主性を身につけるために

## テーマ選定理由(3) このテーマを選んだ理由

■大学の役割、大学の現状を踏まえて、何が重要と考えたのか？

自主性の低い学生に自主的に行動してもらうきっかけの提供が重要である。



答えを教えるのではなく、解決の道筋を案内する教育的な職員が必要！

5

学生一人ひとりが自主性を身につけるために

## 問題点の深堀

■なぜ自主性が低い学生が多いのか？

- ・ 答えを与えすぎて自主的に動かない悪循環
- ・ 事務組織が縦割りであり、スムーズな情報共有ができていない
- ・ 教職員の対応が必ずしも均一ではない
- ・ 必ずしもインターネット環境があるわけではない。

6

学生一人ひとりが自主性を身につけるために

## 解決策の検討

- ・学生の窓口を一本化し、質問が行いやすい環境を作る。
  - ・学生の変化を敏感に捉えるため、学生の情報を共有化する。
  - ・声掛け、雑談
  - ・Q&A課 学習に括らず大学生生活全てに対応
  - ・COC 地域と学生を関わらせる
  - ・OBから現役にアドバイス
  - ・個人面談
  - ・スチューデントコンサルトの設置
  - ・SNSの活用
- etc...

学生一人ひとりが自主性を身につけるために

## 大学のイノベーションの提案

### ■提案の概要

学生の総合窓口**Q&Way課**の設置と  
ICTを駆使した**学生プロフィールデータベース**の作成

### ■何を問題として捉えたか

- ・自主的に行動できない学生がいる。
- ・困っている学生が部署間でたらいまわしにされる。
- ・学内のICT化を進めても学生の情報リテラシーが必ずしも追いついていない。

学生一人ひとりが自主性を身につけるために

## 大学のイノベーションの提案

■問題を解決する方法として何を提案するのか

### Q&Way課とは

- ・Question(質問)に対するWay(道筋)を回答する課である。
- ・全ての学生はわからないことはQ&Way課の窓口にお問い合わせる。  
→学生はQ&WAY課の窓口ですべて解決できる。  
(職員がICTを活用すればよい。)

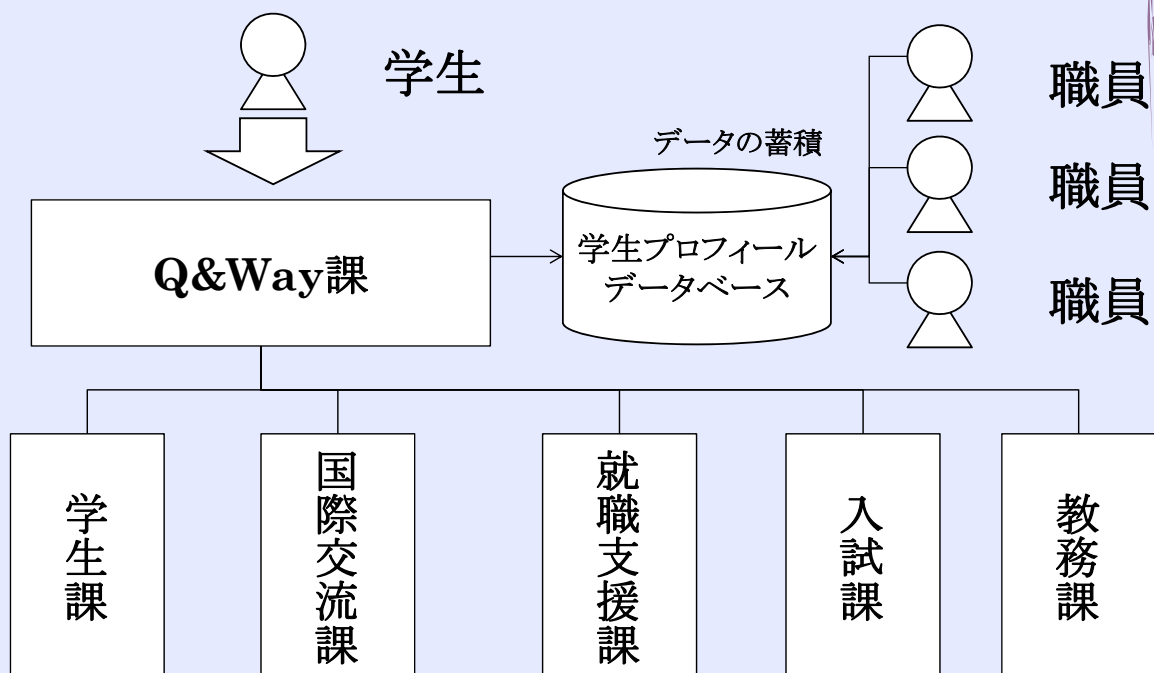
### 学生プロフィールデータベースとは

- 各職員が自業務の中で気づいた学生の情報を蓄積する。
- Q&Way課はこのデータベースの内容をすべて閲覧できる。

9

学生一人ひとりが自主性を身につけるために

## 大学のイノベーションの提案



10

学生一人ひとりが自主性を身につけるために

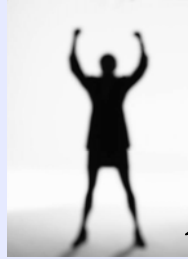
## 大学のイノベーションの提案

■これを実現するために、どのようなアプローチが必要か。

- ・様々な部署に習熟した人材の育成  
(経験豊富なベテラン職員を配置)
- ・Q&Way課に権限の付与
- ・個人情報の取り扱い方法の検討
- ・定常的に各職員が学生情報を提供するように働きかける。

■解決されたときの姿(どのような状況になれば目的が達成されたといえるのか?)

学生



各職員が憧れる  
花形部署になる！

応用すれば今度は自分でも  
解決できるぞ！